

標準制服の基本的な仕様

徳島市立中学校共通の標準制服の導入にあたって、徳島市立中学校の標準制服導入支援業務に係るサポートメーカー選定公募型プロポーザル実施要領に記載した内容を踏まえた上で、次に掲げる事項に配慮して、徳島市立中学校制服のあり方検討委員会との協働により取り組むこと。

1 制服の形（スタイル）に関する事項

- ・冬用の上衣は、ブレザー型とする。
- ・夏用の上衣は、ポロシャツ及びワイシャツとし、生徒自身が選択できるようにする。
- ・ベストやカーディガン、袖の長さ等により、温度調節ができる工夫について提案を受けることとする。
- ・下衣はスラックス、スカート及びキュロットスカートとし、学校や生徒による選択を可とする。
- ・基本となる色は紺色系、黒色系、灰色系のいずれかとする。
- ・夏用・冬用ともに、各種アイテム（ネクタイ、リボン、ワッペン等）を使って学校の区別ができる提案を受けることとする。
- ・全体を通して、ジェンダーレスへの配慮を行う。
- ・本市の中学生が誇りをもち、長く愛されるデザインであること。
- ・標準制服を採用した中学校の間で制服リユースがしやすくなることが望ましい。

2 機能性に関する事項

- ・暑さ寒さへの適応性に優れ、快適に1年が過ごせる機能性を有していること。
- ・動きやすく、通気性や着心地にも配慮し、快適に学校生活を送ることができるもの。
- ・汚れが付きにくく落としやすいなどの機能があり、家庭用洗濯機で丸洗い可能で、しわになりにくい等家庭でのケアがしやすい素材であること。
- ・生徒の成長にあわせて仕立て直し等の対応ができ、3年間着用できる耐久性のあるもの。
- ・生徒の体格に応じた配慮ができるものであること。
- ・自転車通学等を考慮し、スカートは風などで広がりにくいものであること。
- ・夏用の上衣は、透けにくく、通気性が良いものとする。また、白色の場合は黄ばみにくく、色物の場合は洗濯による色落ちが少ないこと。
- ・色褪せなど、経年劣化が目立ちにくい素材とすること。
- ・雨や汗で濡れたときに、変色する素材は避けること。

3 価格に関する事項

- ・現行を上回らない、もしくは現行の保護者負担が増えない価格設定を目指すものとする。